



小学部

平成21年度9月号 NO.6

さあ！2学期が始まりました。多くの学校では運動会に向けて日々練習が続いているようですね。ちょっと疲れた様子を見せながらも・・・つぼみに来ると もう一頑張りを見せてくれています。その頑張りに応えるべく取り組んでいます。

さて、その一方で気になる話題も・・・近隣の幼稚園・保育園・小・中学校でインフルエンザの流行も聞かれ心配事もあります。つぼみではインフルエンザ対策として、利用時の手洗い・消毒 必要に応じてマスクの着用を徹底しています。疲れやすいこの時期の健康管理に注意を払って行きたいと思います。



## 夏のあしあと 後編

### バイキング



### アケア・ト



### リトミック



### たからもの作り



### 交流会・調理実習

～写真1枚 1枚にたくさんの思い出が詰まっています 全てがこの夏の宝物！～

## スタッフ紹介

### 光陽福祉会 事務局



事務局長  
菊池 利哉



局長代理  
浅野 尚美



事務員  
松田 敦子

### 児童デイサービス

#### 学童の部



センター長  
古田 真理華



中島 由貴



島塚 立江



中村 雅代



山中 のりよ



村瀬 真理

#### 学童の部

#### 未就学の部

### 移動支援



大石 結実



松原 万零



八木 恵



井原 由歌



臼井 佳代



笠原 恵美

## Kのひとこと

つぼみには、地獄のミーティングがある。月曜日と木曜日に顔を出す局長は、この日の様子が日々の様子だ。と決めつけ、午後6時45分から地獄のミーティングが始まる。そのミーティングでKのテンションが頂点にたした頃に必ず起きる事件がある。チョロチョロチョロチョロと水洗トイレの水が流れる音がする。そう、今月紹介するのは、そんな音を携帯の着信音にする山中先生。

体は小さいが、気持ちは大きい。ある時は、小さい体に子どもが何人も寄ってきて、蹴られて、殴られて、振り回されて。それでも、山中先生は、浅野代理に謝る。「私がダメなんです。子どもたちには問題ありません。」そう山中先生はいつも子どもの近くにいる。つぼみ職員の中でも、群を抜いて子どもの気持ちに近い人。小さな体だけど、大きな心と秘めたパワーがある。親さんたちとの会話は得意な人じゃない。だけど、親さんたちとの会話だけが、つぼみの元来の姿じゃない、現場で必死に関わる山中先生の様な姿が、つぼみである。ことも、知ってください。